

次期大会のご案内

第69回日本神経化学学会大会のご挨拶

第69回日本神経化学学会大会は、2026年7月30日(木)～8月2日(日)の4日間にわたり、神戸市の神戸国際会議場にて開催いたします。2024年に続きNeuro2026となりますが、今回は神経科学学会・神経回路学会との合同大会です。

Neuro2026のテーマ「育め—未来のニューロサイエンティスト」は、日本神経化学学会が長年取り組んでいる若手研究者の育成を柱に、これから研究者になる高校生・大学生に向けた研究の魅力発信を、3学会合同で推進しようという意図が込められています。

皆さま、Neuro2026のポスターを見ていただけましたでしょうか？浮かんでいる雲が何となく脳の形であるとか、建物の看板が商業施設の名前ではなくNEURONになっているとか、ちょっとしたtipsが盛り込まれていますが、私が是非にとお願いしたのはゴンドラに乗っている子供の手に世界地図を持たせて欲しいということでした。将来を夢見る若い研究者が、Neuro2026の参加経験を1つのきっかけとして、世界に羽ばたいて欲しいという思いを込めております。

プレナリーレクチャーには、タウや認知症研究のDr. Li Gan (Weill Cornell Medicine)、神経発生生物学のDr. Sonia Garel (College de France/IBNES)、発達心理学および認知科学研究のDr. Alison Gopnik (UC Berkeley)、サル視覚野研究のDr. Pieter Roelfsema (Netherlands Institute for Neuroscience)をお招きしています。その他にも、特別講演や教育講演として国内外から著名な研究者が多数登壇する予定です。生の講演を聴くに留まらず、大先輩の研究者らと交流する経験をしていただきたいと思います。

演題募集や参加登録などの詳細は、大会ウェブサイトをご覧ください。皆さまと神戸の会場でお会いできることを楽しみにしております。

第69回日本神経化学学会大会長
等 誠司